

九月二十九日

深夜三時半。眠くなってきた。又眠ってみようか。一人で夜中に起き出して、手持ち無沙汰していると、昔ばかりを思い出す。今朝は群馬の森田さんに連絡して、長八美術館のお色直しの件を相談したい。もう一度、人物達に松崎町に集まってもらい、市町村合併で旧松崎が生まれ変わる幕明けとしたい。文化、歴史は人間が作るものであつて、風景が作るわけじゃない。しかし、自然との折合いの中で、人間の生活自体が在る事も意識しなくてはならない時代でもある。三時四〇分眠ろう。五時過、東の山の端、空が白々と明けなずんでくる。眠ったような眠らぬような。

今日は夕方、東大で難波さん鈴木さんにあつて歴史と技術研究会の概要を決めなくてはならない。庭園技術を介して造園技術保存のデータバンク作成から始めるのはどうか。提案してみよう。六時四〇分温泉につかる。貧乏性で、温泉場に行くと、何度も何度も温泉につからないと損する感じがあるんだナア。我ながら本当に小人物である。しかし、体は本当に休まった。有難い。八時に森さんが来てくれる予定。

九時蓮台寺発踊り子で東京へ。十三時前研究室帰着。群馬の森田さんに電話。長八美術館の件伝える。

十三時半千村君、お母さん来室。千村君は自分でデザインを学習して、自分の家の設計に役立てたいと言つ。それでは、という事で十月十二日より、千村君にデザインのレクチャーをこれから

一年ほどして差し上げる事にした。休日を利用して、子供にも解りやすく住宅のデザインを学習する。プログラムを組んでみる。私のリフレッシュにも役立つだろう。

十八時東大難波研究室。鈴木博之先生も参加。技術と歴史研究会発足準備の会。議論風発。二次会、三次会へ。鈴木先生戦闘意欲大いに大。心強い。

二十二時四十分過新宿京王線。難波先生に新宿まで送つて頂き、今、烏山へ戻る途中。鈴木先生より森川嘉一郎ウエネチア・ピエーニのコミッショナー担当決定を聞く。磯崎新の荒技だ。嘉一郎もこのチャンスを生かしてもらいたい。

九月三〇日

七時起床。屋上に上る。富士山、丹沢、秩父の山並が美しい。東京も捨てたもんじゃない。ビルの谷間にTOKYOタワーが細々と見える。隣の見苦しいのはアレは森ビルだろう。二階の食堂で育てているパキラの樹、手に入れた時は一メートル二、三〇だったのが今は4メートル少しの天井に届くまでに成長した。十時研究室。十七時日本フィンランド・デザイン協会理事会。新宿オゾンで。二十一時前迄続く。